

～医療，健康・福祉・介護，地場ライフサイエンスの産業振興に向けて～

## 「京都市ライフイノベーション推進戦略(仮称)」(案)

### <市民意見募集>

京都市では，今後の発展が大いに期待される医療，健康・福祉・介護，地場ライフサイエンス関連等の産業振興に向け，取り組むべき施策・取組内容等を示した「京都市ライフイノベーション推進戦略（仮称）」の検討を進めてまいりました。

この度，戦略の案を取りまとめましたので，市民，事業者の皆様からのご意見，ご提案を募集します。

今後，皆様からいただいたご意見を踏まえ，戦略を策定します。

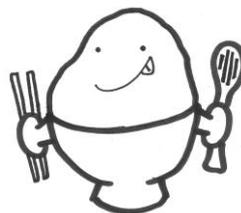
多くの市民，事業者の皆様の声をお待ちしております。

\*本冊子は概要版です。全文は，京都市情報館（京都市役所のウェブサイト）の市民意見（パブリックコメント）のページに掲載しています。

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sankan/0000177008.html>)

皆様からの御意見を募集しています！！

パブコメくん



#### 【提出方法】

郵送・FAX・電子メール・京都市情報館内の意見送信フォームのいずれか（様式は自由）で「京都市産業観光局新産業振興室」まで提出してください。

\*電話では受け付けておりませんので，ご了承ください。

#### 【募集期間】

平成27年1月21日（水）～平成27年2月19日（木）（必着）

#### 【問合せ及び送付先】

〒604-8571（住所の記入は不要）京都市 産業観光局 新産業振興室

〔電話〕075-222-3324〔FAX〕075-222-3331

〔電子メール〕[sanshin@city.kyoto.jp](mailto:sanshin@city.kyoto.jp)

〔京都市のホームページ〕<http://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/sankan/0000177008.html>

#### 【ご意見の取扱いについて】

お寄せいただいたご意見につきましては，個人に関する情報を除き，公開する場合があります。

また，ご意見に対する個別の回答は致しませんので，予めご了承ください。

## 策定にあたって

### 【背景】

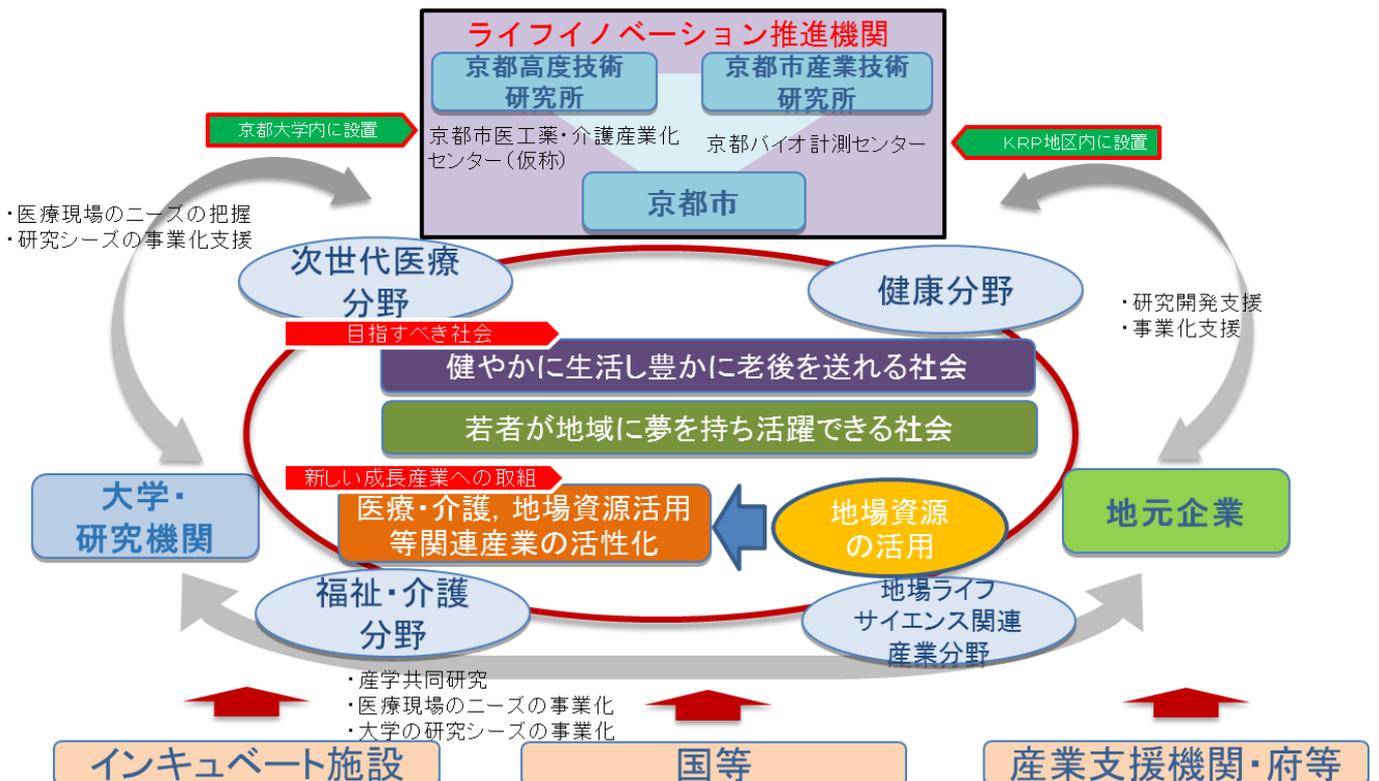
- ライフサイエンス分野<sup>\*1</sup>は、今世紀の産業をリードする基盤分野であり、がんや難治性疾患の治療技術の確立や生活習慣病等の予防につながる先制医療<sup>\*2</sup>の構築、要介護者・介護者にとって満足度の高い機器の開発等による国民の生活の質（クオリティオブライフ<sup>\*3</sup>）の向上が期待されている。
- 京都市では、平成14年6月に「京都バイオシティ構想」を策定し、産学公連携による医療技術・機器等の開発や技術者育成、インキュベート施設<sup>\*4</sup>の設置、ベンチャー企業の育成・中小企業支援等を進めてきた。
- また、国においても、国民の健康寿命の延伸を目指して、予防サービスや良質な医療・介護サービスの充実に向けた取組が進められている。

### 【目的】

- これらの動きを地元中小・ベンチャーを含めた企業と大学・研究機関、行政等の産学公連携による取組の絶好の機会ととらえ、以下の取組を加速させる産業戦略・都市政策として、新たな推進戦略を策定する。

- ①京都の大学等が先導する再生医療等の次世代医療や、健康・福祉・介護といった新たな分野で新産業・新事業を創出する。
- ②京都が得意とする計測・分析や精密加工、情報処理等の技術を活用し、ライフサイエンス産業の振興を図る。
- ③京都の伝統産業が持つ発酵技術や繊維機能化技術等の地場資源を活用しライフサイエンス関連産業の振興を図る。

## 戦略のイメージ



- 目指すべき社会として、「健やかに生活し豊かに老後を送れる社会」、「若者が地域に夢を持ち活躍できる社会」の2つを掲げ、新しい成長産業への取組として「医療・介護，地場資源活用等関連産業の活性化」を推進するために、ライフサイエンス分野の大学・企業が集積する都市特性，伝統産業が持つ発酵技術や繊維機能化技術等の地場資源を最大限活用する。
- 具体的には，地元企業，大学・研究機関，京都市の3者の連携を軸に，インキュベート施設や国，産業支援機関・京都府等のオール京都体制により，「次世代医療分野」，「健康分野」，「福祉・介護分野」，「地場ライフサイエンス関連産業分野」等の産業振興を推進し，地元中小・ベンチャー企業を含めた地域の活性化を図る。さらに，地場産業の育成により，京都で学ぶ若者が地域に夢を持ち就業や起業等で活躍できるような環境整備を推進する。
- 計画期間は，平成27（2015）年度～平成32（2020）年度までとする。

## 重点的に取り組む分野

- 京都の大学・研究機関等が得意とする分野，中小企業を含む京都企業が得意とする基盤技術を組み合わせ，それぞれの分野と技術が相乗効果をあげるよう，「次世代医療」，「健康・福祉・介護」，「地場資源活性化」の3つの分野に重点的に取り組んでいく。

### 基礎基盤の確立に向けたプロジェクト創成

### 次世代医療分野

#### 目指すべき姿

がんや難治性疾患等に効果のある革新的新薬，再生医療技術，患者に負担のかからない先端医療機器等の開発に向けて産学公の連携による共同研究を行い，より多くの人々がその革新的医療技術を受けられることができるよう製品化を目指す。

#### 取組内容

- 京都発革新的医療技術研究開発助成事業を通じた技術シーズ等の発掘と産学公連携プロジェクトの創成
- 研究開発の事業化に向けた大学発ベンチャー企業の創出支援（会社設立，特許取得，資金獲得マッチング）
- 研究開発に必要な特別仕様の研究資材等の受注に，地元ものづくり企業の参画促進（マッチング・コーディネート）

- 
- ※1 **ライフサイエンス分野**：本戦略でいう「ライフサイエンス分野」とは、「生命現象の複雑かつ緻密なメカニズムを解明する科学であり，その成果が医療・環境・産業等の様々な分野に応用させる。本市では，医療から健康，福祉，介護までを含み，地場資源である食品等も範囲に含める。」とする。
  - ※2 **先制医療**：病気と診断されるより以前の段階，まだ本人の自覚症状もない発病前の段階で，将来，り患可能性が高い病気を発見し，予防しようとする医療法。
  - ※3 **クオリティーオブライフ**：quality of life。生活の質のこと。人々の生活を物質的な面から量的にとらえるのではなく，精神的な豊かさや満足感も含めて，質的にとらえる考え方。医療や福祉の分野で重要視されている。
  - ※4 **インキュベート施設**：起業や創業をするためのスタートアップ期の活動を支援するための施設。

## 事業化に向けたコンソーシアム体制構築

## 健康・福祉・介護分野

### 目指すべき姿

健康分野に関しては、糖尿病や脳卒中、心臓病等の生活習慣病や加齢に伴う認知症等の発病を未然に防ぐため、病気に至る原因を計測・分析・ICT技術等を活用して研究し、常時健康状態が把握できるヘルスケア製品等を開発するとともに、京都市の高い地域コミュニティ力を活かしたサービス産業を創出するなど、病気にならない取組を進める。福祉・介護分野に関しては、要介護者・介護者の双方にとって満足度の高い、身体的・精神的負担を軽減する介護機器、サービス等の開発を支援し、産業振興と生活の質の向上を目指す。

### 取組内容

- 健常者データの収集・分析の仕組みづくりの検討及び収集したデータ等と計測・分析・ICT技術を得意とする企業との連携による新たな機器開発支援
- 在宅・施設介護において使いやすい機器開発に向け、大学・企業と介護現場が連携した情報交換の場の設置
- 健康機器・介護機器等の開発に向けた産学連携・産産連携のプラットフォームの設立
- 京都市の高い地域コミュニティ力を活かした、健康予防等サービス産業の創出

## 技術者育成、中小企業の高度技術化・共同研究支援

## 地場資源活性化分野

### 目指すべき姿

高品質・高付加価値の地元の食品・農産物等を提供していくため、日本酒等の開発で培われてきた計測・分析技術等を活用し、安価・短時間で測定結果が判明する試薬・分析機器開発を推進する。また、研究者・企業等が自由に高度機器等を活用できる京都バイオ計測センターを活用し、産学共同研究を促すとともに、地元中小企業等の技術者発掘・育成や技術の高度化支援を行う。

### 取組内容

- 日本酒等の製造技術の高度化の推進及び国内外のニーズに応じた発酵技術の開発、商品化の促進
- 食品の残留農薬等、安全・安心を担保する計測・分析試薬、機器開発の推進及び介護現場で期待される消臭性に優れた高機能繊維の商品化促進
- 地元企業の技術の高度化等による高付加価値製品づくりの支援
- 京都バイオ計測センターに設置する高度研究機器を使いこなす技術者育成

## ライフィノベーションを引き起こす戦略

- 「次世代医療分野」、「健康・福祉・介護分野」、「地場資源活性化分野」を推進するためには、大学・研究機関と企業との共同研究や企業同士の連携、大学内でも学部・学科の垣根を越えた異分野融合の共同研究、さらに既存中小企業の技術力向上を進める「技術革新による新事業・新産業に向けた取組」と、市場開拓の支援や経営支援ネットワーク化、大学等の研究機関・企業の集積によるクラスター化で本分野の活性化を図る「ビジネス化環境の整備に向けた取組」の2つを両輪として、進めていく必要がある。
- そこで、「技術革新による新事業・新産業の創出に向けた取組」では、「大学等の研究成果の事業化支援」、「産学連携、産産連携による新事業・新産業の創出支援」に、「ビジネス化環境の整備に向けた取組」では、「中小・ベンチャー企業の技術の高度化支援・技術者育成支援・ネットワーク化」、「公的機関等の充実と企業立地支援の推進」、「グローバル展開の支援」に取り組む。

## 技術革新による新事業・新産業の創出に向けた取組



## ビジネス化環境の整備に向けた取組



## 技術革新による新事業・新産業の創出に向けた取組

### I 大学等の研究成果の事業化支援

#### (1) 京都市医工薬・介護産業化センター（仮称）の設置

大学研究者や中小・ベンチャー企業の研究成果の事業化に向けて、京都大学先端医療機器開発・臨床研究センター内に設置している京都市医工薬産学公連携支援オフィスの活動をより一層充実させ、「京都市医工薬・介護産業化センター（仮称）」を設置する。

#### (2) 金融機関、ファンドとの連携強化

有望な研究シーズを持つ大学発ベンチャー企業等の立ち上げ期を、技術面・経営面からサポートするとともに、金融機関、ベンチャーキャピタル等の資金調達支援機関に積極的に情報提供しマッチングを行うなど、連携を強化する。

#### (3) ライフサイエンス分野の事業化支援者等の発掘・育成

ライフサイエンス分野の事業化支援者等の発掘・育成に向けて、意欲あふれる学生や社会人を対象に、創薬・医療機器等の基本技術やビジネスの特徴等を解説する講習会、勉強会を実施するとともに、産業のグローバル化に対応するため、中小・ベンチャー企業に加え学生等も対象とした教育プログラム等についても、大学等との連携のもと実施する。

## Ⅱ 産学連携，産産連携による新事業・新産業の創出支援

### (1) 異業種交流会の設置

大学及び中小・ベンチャー企業等のシーズ，ニーズ等の交流を図り，産学連携，産産連携により，事業化・産業化に結び付けるため，シンポジウムや交流会等を開催するとともに，計測・試薬や介護・福祉といった特定の分野ごとに研究会を組織する。

### (2) 事業化を見据えた産学連携，産産連携によるコンソーシアム体制の確立

事業化・商品化に向けた共同研究・開発体制を構築するため，産学連携，産産連携のコーディネートを実施し，国等の研究開発プロジェクト等を積極的に導入できる環境づくりを行う。また，早期に製品・サービス等の市場への投入ができるよう伴走支援を行い，事業化会社の設立等も視野に置いた取組支援を行う。

### (3) 事業化コーディネーターの配置による支援

大学及び中小・ベンチャー企業等の優れた技術・機器等を事業化・製品化するため，伴走支援を行う事業化コーディネーターを配置し，大学・企業等との連携のもと，特許取得や販路開拓のほか，技術移転や特許譲渡等の支援も行う。

## ビジネス化環境の整備に向けた取組

## Ⅲ 中小・ベンチャー企業の技術の高度化支援・技術者育成支援・ネットワーク化

### (1) 京都バイオ計測センターにおいて高度研究機器等を活用する技術者育成事業の推進及び技術者等の活用

京都バイオ計測センターに設置した高度研究機器等を活用する技術者等を対象とした育成事業に取り組む。また，大学の研究支援や企業の技術力向上に向けて，若者・シニア層も含めたライフサイエンス分野の技術者の活用方法について検討する。

### (2) 京都市産業技術研究所におけるライフサイエンス分野の研究機能強化

京都市産業技術研究所における発酵技術開発や「食の安心・安全な環境の構築」プロジェクトの中で進められてきた試薬・計測機器開発等のライフサイエンス分野の研究機能強化を図るとともに，大学や他の研究機関，ベンチャー・中小企業等との共同研究や事業化支援，製品開発等を推進する。

(3) 京都高度技術研究所におけるライフサイエンス分野のコーディネート機能強化

京都高度技術研究所におけるライフサイエンス全般に関する研究開発プロジェクト及び事業化・製品化の取組を効果的に推進していくため、医工薬産学公連携支援事業の充実・推進を図るとともに、健康・福祉・介護分野についても、事業化・コーディネート機能の強化を図る。

(4) 地元中小企業を取り込んだ、産学公連携プロジェクトの推進

京都市産業技術研究所、京都高度技術研究所のコーディネートのもと、京都バイオ計測センターにより設置した高度研究機器等を活用して、中小・ベンチャー企業との産学共同研究プロジェクトを推進する。

(5) ものづくり中小企業とライフサイエンス分野の架け橋機能強化

高度研究機器等が集まる京都バイオ計測センターのオープン機能（大学やベンチャーから中小・大企業までが自然に集まり、交流する場）を充実させ、技術やニーズ・シーズの交流を図り、産学共同研究、産産共同研究を創出する。

## IV 公的機関等の充実と企業立地支援の推進

(1) ライフサイエンス分野の産業支援機関ネットワークの強化

京都の強みを生かしたライフサイエンス分野の産業振興を進めるため、京都市産業技術研究所及び京都高度技術研究所を核に、京都府や京都リサーチパーク株式会社、経済団体等の地域に存在する産業支援機関等と中小企業基盤整備機構が運営するクリエイション・コア京都御車等のインキュベート施設や技術の橋渡し拠点である京都市成長産業創造センター等と連携して、支援機能の更なる強化を図る。

(2) ライフサイエンス分野の企業の商談会・発表会の開催支援

中小・ベンチャー企業の革新的な技術や研究成果をPRし、販路開拓・拡大や新たな技術開発等につなげるため、国等の制度も活用しながら、首都圏や海外での実施を含めた商談会や発表会の開催を支援する。

(3) 企業立地支援の推進と特区制度を活用した支援策の検討・実施

本市等が実施する企業立地促進制度をはじめとする施策等の充実・活用を図り、本社、開発拠点、研究所等の新規立地や事業の拡大を支援する。加えて、中小・ベンチャー企業等に対して、大学や産業支援機関、インキュベート施設等と連動した支援策を展開するほか、事業所等の新規整備や更新を促進する規制緩和及び税制優遇等についても、国の特区制度等の活用を視野に入れた取組を展開する。

## V グローバル展開の支援

### (1) ライフサイエンス分野の海外産業支援機関との連携体制の構築及び産学連携を目指した都市間連携協定の推進

海外市場での事業展開に意欲を持つ事業者が、現地でのネットワーク構築や販路開拓を実現できるよう、海外の自治体との協力関係を結ぶ等、自治体レベルの取組を進めるとともに、日本貿易振興機構（ジェトロ）の京都事務所の支援のもと、京都高度技術研究所をはじめとする産業支援機関と海外の産業支援機関との連携についても推進する。

### (2) 地元企業の海外展開を視野に置いた支援策の充実

中小・ベンチャー企業が国際レベルの競争を勝ち抜き、海外市場を獲得するため、人材育成事業や商談会等を実施するなど、企業の国際化を支援する。

### (3) 海外の大学等の研究機関、企業等の集積促進

優れた研究成果を持つ大学、独自の技術を持つ企業等が集積する京都の強みを生かして、海外を含む大学等の研究機関、企業等の集積を図り、国際的な技術開発、製品開発を促進する。

## 成果指標

- 平成 32（2020）年度までに、施策の方向性に応じた成果指標として、次の4つの指標を設定する。

＜雇用・育成＞ ライフサイエンス分野の技術者育成数 500名

企業等におけるライフサイエンス分野の推進に貢献する技術者等の養成実績数を基に設定

＜生産拡大＞ ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業及びオスカー認定企業、知恵創出“目の輝き”認定企業、ファンド獲得企業数 30社

京都市ベンチャー企業目利き委員会及びオスカー、知恵創出“目の輝き”の認定企業、公的・私的ファンド獲得企業のうちライフサイエンス分野の実績数を基に設定

＜イノベーション創出＞ プロジェクト創出数 60件

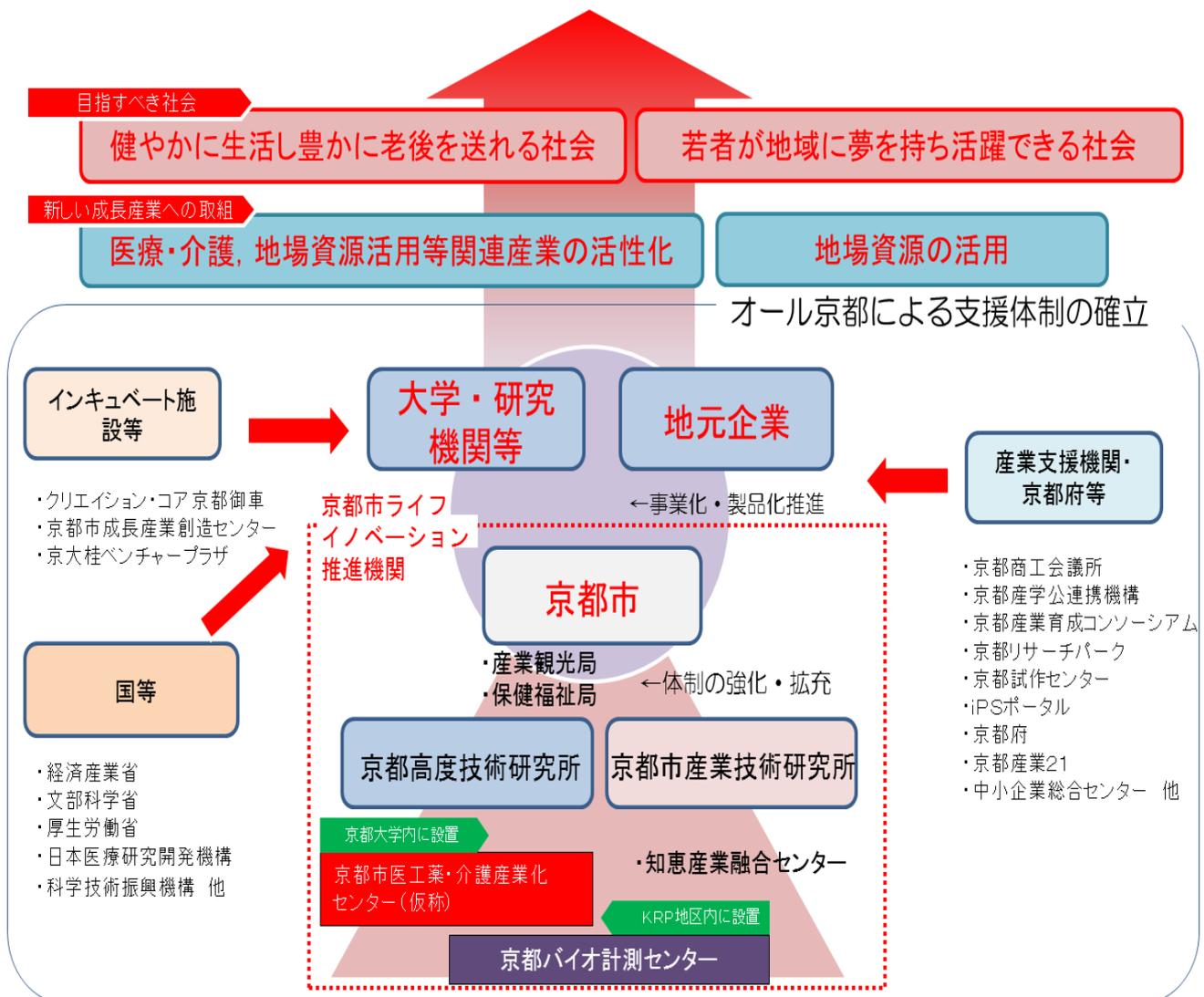
京都市産業技術研究所及び京都高度技術研究所の研究者、コーディネーターの活動の下、新たに組成された産学連携による研究の事業化数及び事業化を見据えた産学連携、産産連携によるコンソーシアム等の組織数を設定

＜産業集積＞ 企業立地数 60社

市内インキュベーション施設入居企業及び企業立地促進助成対象企業のうちライフサイエンス分野の実績数を基に設定

## 推進に向けた実施体制

- 大学等の研究機関，企業等が円滑に研究開発プロジェクトや事業化体制を構築できるようなコーディネートを推進する。また，本市保健福祉局及び関連施設，医療研究機関との連携を密にするとともに，京都府をはじめ地域の経済団体，大学，産業支援機関等と連携して効果的かつ効率的な支援を実施する。
- 関西広域連合をはじめとした広域関係機関との連携についても積極的な役割を果たしていくとともに，国においても，健康寿命の延伸に向けて，法整備や集中的な予算措置が行われることから，各関係団体等との連携のもと，必要な施策と予算を提案していく。



**「京都市ライフイノベーション推進戦略（仮称）」（案）  
ご意見記入用紙**

※様式は問いませんが、このページを応募様式として使用することができます。

**宛先** 京都市 産業観光局 新産業振興室  
FAX：075 -222 -3331

【ご意見記入欄】


ご意見を取りまとめる際の参考としますので、差し支えなければご記入ください。

【年齢】 \_\_\_\_\_歳

【性別】 男・女

【居住地】 京都市・京都市外（市町村名： \_\_\_\_\_）

※該当するものに○をつけ、ご記入ください。

発行：京都市産業観光局新産業振興室 平成27年1月発行 京都市印刷物 第264855号



この印刷物が不要になれば  
「雑がみ」として古紙回収等

